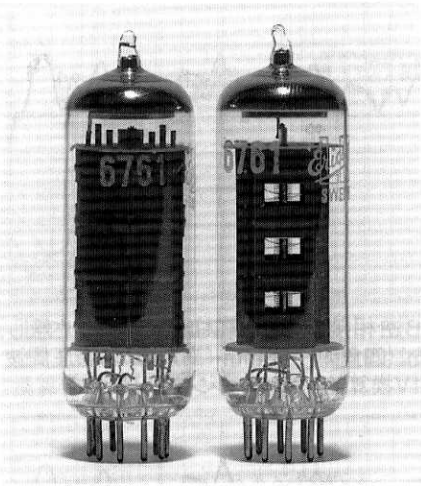
現代版 真空管活用ガイド ㊽

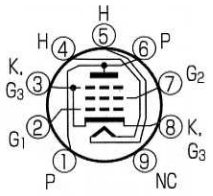
黒川達夫

低周波出力増幅用5極管

6761



EMエリクソン　同90度回転
6761



LMエリクソン6761
(実サンプルによる)

[表1] 発表定格

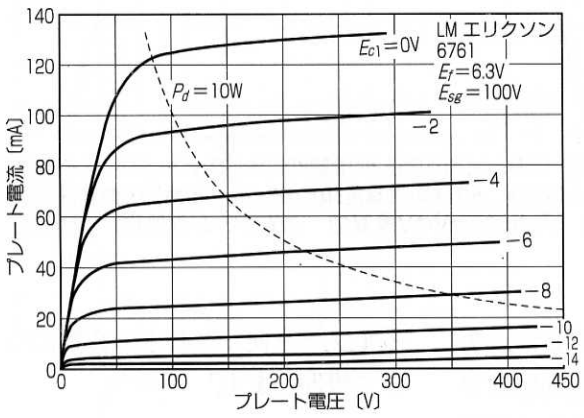
ヒーター	6.3 V/1.0 A
代表特性	
プレート電圧	130 V
第2グリッド電圧	130 V
第1グリッド電圧	−9 V
プレート電流	70 mA
第2グリッド電流	3.5 mA
相互コンダクタンス	12000 μS
内部抵抗	26 kΩ
負荷抵抗	2 kΩ
出力	3 W

■プロフィール

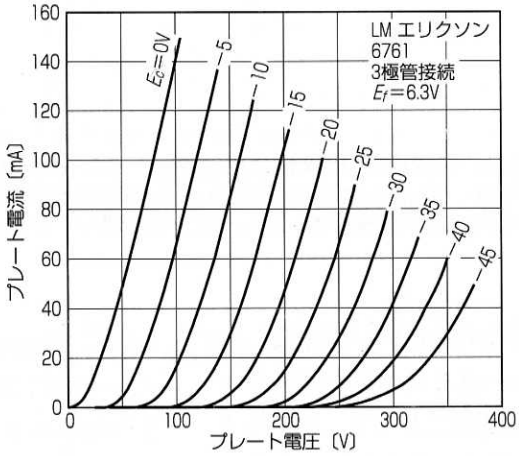
スウェーデン・LMエリクソン製の小型広帯域電力増幅用5極管．長寿命堅牢型で，用途は有線搬送通信機器や極超短波商業通信中継機器の中間周波増幅終段，あるいは映像信号出力増幅など．9ピン型MT管で，電極構造，外観など国産の19R-P11に似るが，より大電流型でG_mが高い．米国起源の真空管に類似品は見あたらない．ヒーター定格18V/0.35Aのものに6760がある．

■構造および電気的特性

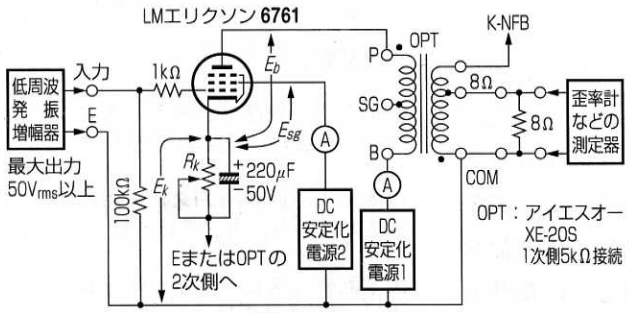
第3グリッドを備えた典型的5極管で，E_b-I_b動作特性は肩特性がおだやかで直線性に優れたもの．



[図1] LMエリクソン6761 E_{sg}=100VのE_b-I_b特性
(図1，図2測定：高間欣也氏)

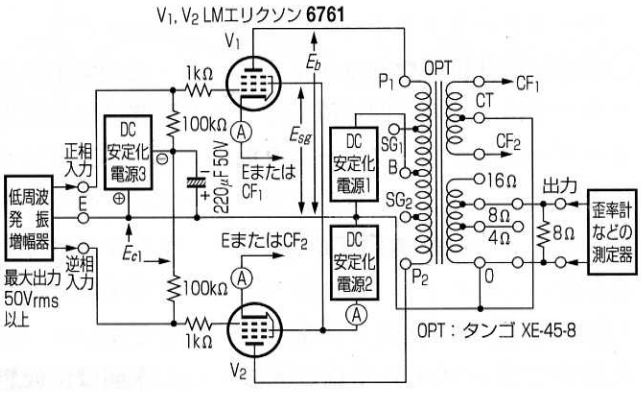


[図2] LMエリクソン6761 3極管特性E_b-I_b特性



・E_b, E_{sg} は対カソード電圧，E_kは対アース電圧(DMM測定)．
・I_b, I_{sg} はDMMによる直接測定．
・バラツキもあるので，設計の目安として活用されたい．

[図3] 自己バイアス方式シングル動作測定回路



[図4] 固定バイアス方式プッシュプル動作測定回路